

宮崎駿 イメージボード全集



一枚の絵が
アニメーションの
歴史を変える。

2024年12月、
いよいよ
愈々刊行開始！

スタジオジブリ責任編集

岩波書店



木々を愛で
虫と語り
風をまねく鳥の人…

宮崎駿イメージボード全集 1
風の谷のナウシカ

2024年12月5日刊行、108頁
ISBN978-4-00-028831-6
本体 4,200円＋税



ある日、少女が
空から降ってきた…

宮崎駿イメージボード全集 2
天空の城ラピュタ

2024年12月5日刊行、136頁
ISBN978-4-00-028832-3
本体 4,800円＋税

近刊

このへんないきものは、
まだ日本にいます。
たぶん。

宮崎駿イメージボード全集 3
となりのトトロ

2025年3月刊行予定
ISBN978-4-00-028833-0
価格未定



※各 B4 判変型(350mm×257mm)・
並製カバー・C0370

以降続刊——収録予定作品

●宮崎駿監督による劇場用映画

「魔女の宅急便」「紅の豚」「もののけ姫」「千と千尋の神隠し」
「ハウルの動く城」「崖の上のポニョ」「風立ちぬ」「君たちはどう生きるか」

●宮崎駿が制作に携わったスタジオジブリ劇場用映画

「耳をすませば」「ゲド戦記」「借りぐらしのアリエッティ」「コクリコ坂から」

●その他の短編映画および初期作品

「On Your Mark」、ジブリ美術館オリジナル作品、テレビアニメ作品ほか

●お取り扱いは



岩波書店

〒101-8002 東京都千代田区一ツ橋2-5-5
電話 03(5210)4000(案内)
[定価は本体価格＋税]
岩波ホームページ <https://www.iwanami.co.jp/>

手を動かし、想像力を駆使して
創り出された、宮崎駿の画業の魅力を、
美しい印刷であますことなく伝える！



「イメージボード」は、これから作ろうとする映画の作品世界を自身が探るために、また、それをスタッフに共有するために描かれ、宮崎駿の創作過程に不可欠なものです。本書は、映画監督かつアニメーターでもある宮崎駿が、自ら手掛けた〈絵〉——イメージボードやストーリーボードなど——を可能な限りすべて集めた画集です。

■集められるだけの〈絵〉をすべて収め、オリジナルに近いカタチで再現

スタジオジブリにある宮崎駿手描きのイメージボードやストーリーボードなどをすべて収録。原画から高精度スキャナーで読み込むことを基本とし、原画と変わらぬ色彩やタッチなどの風合いの再現をめざしています。すでに関連書籍で紹介されている〈絵〉も高画質で掲載。未発表作品も多数収録しています。

■原寸あるいは原寸に近いサイズで〈絵〉を掲載

大判の判型(350ミリ×257ミリ)とすることで、原画と同じ大きさ、または近いサイズで〈絵〉を掲載しています(ページに収まりきらないものは視認性を考慮しながら縮小しています)。

■宮崎駿の世界の原点となる〈絵〉を作品ごとに紹介

シリーズの各巻は、宮崎駿が監督した「風の谷のナウシカ」以降の劇場用映画を完全網羅。またアニメーターとして宮崎駿が制作に携わり手がけた、スタジオジブリ創設以前の初期作品も収録予定です。

■各巻に鈴木敏夫プロデューサーの新規インタビューを掲載

作品に即した逸話や〈絵〉の誕生の経緯を語る、鈴木敏夫プロデューサーの新規インタビューを、各巻末に掲載します。

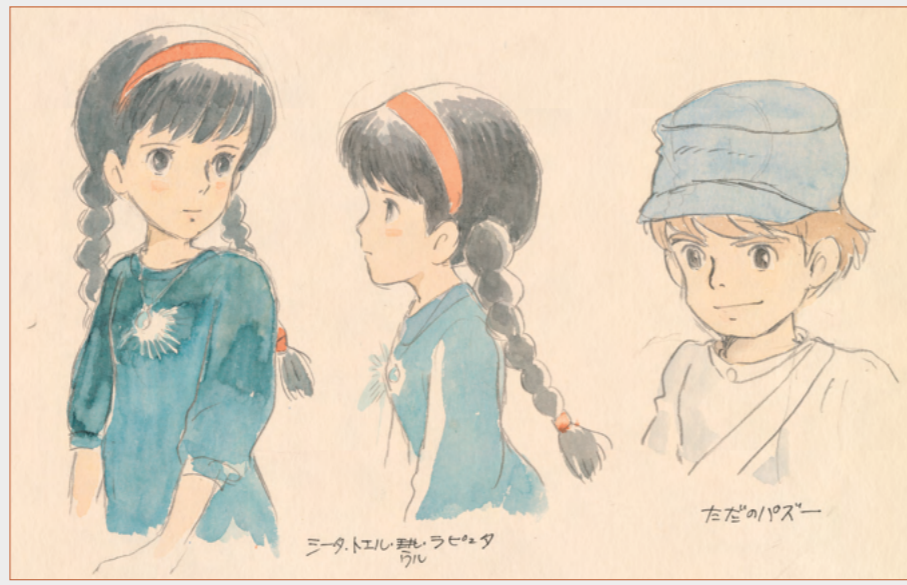




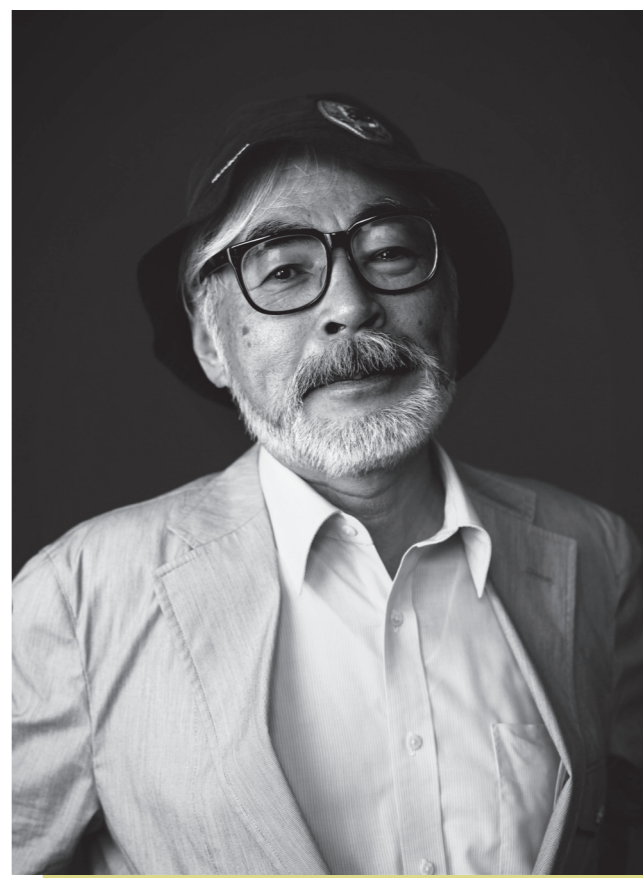
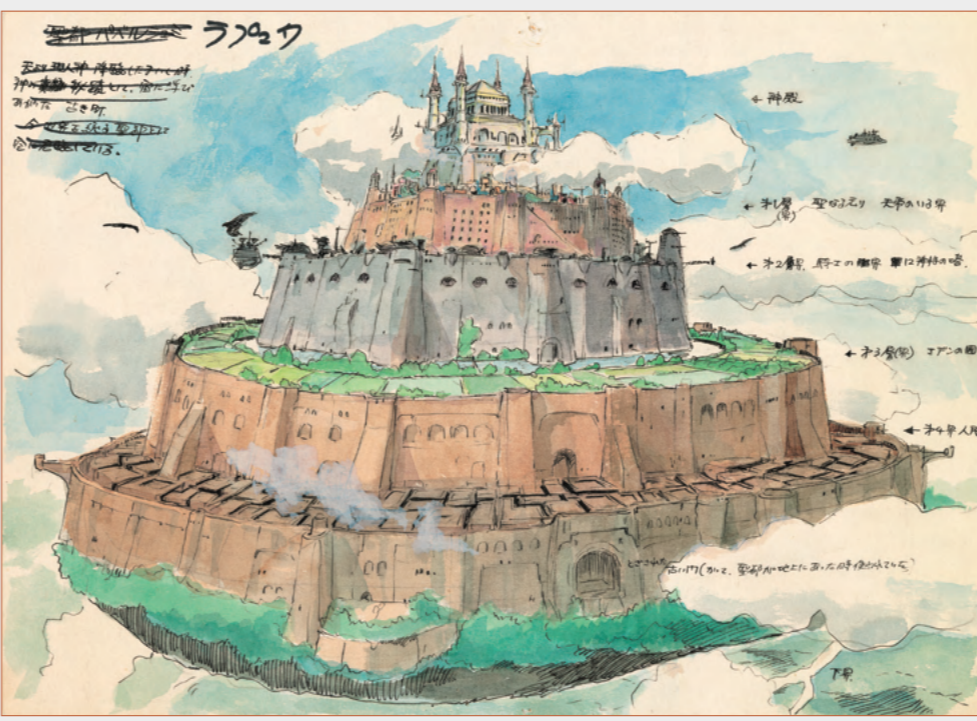
風の谷の
ナウシカ



天空の城
ラピュタ



宮さんのイメージボードには、映画を作る
上での必要な情報が全部入っている
——鈴木敏夫



宮崎 駿 (みやざき・はやお)

アニメーション映画監督。1941年、東京生まれ。1963年、学習院大学政治経済学部卒業後、東映動画(現・東映アニメーション)入社。1985年にスタジオジブリの設立に参加。代表作は「風の谷のナウシカ」(1984)、「天空の城ラピュタ」(1986)、「となりのトトロ」(1988)、「もののけ姫」(1997)、「千と千尋の神隠し」(2001)、「ハウルの動く城」(2004)、「崖の上のポニョ」(2008)、「風立ちぬ」(2013)、最新監督作は「君たちはどう生きるか」(2023)。「千と千尋の神隠し」で、第52回ベルリン国際映画祭金熊賞、第75回米アカデミー賞長編アニメーション映画部門賞を受賞。第62回ベネチア国際映画祭では米誉金獅子賞を受賞。2012年には文化功労者に選出され、2014年11月、米映画芸術科学アカデミーよりアカデミー名誉賞を受賞している。2024年3月には、「君たちはどう生きるか」で第96回米アカデミー賞長編アニメーション映画部門賞を受賞し、21年ぶり2度目の受賞となった。また同年5月には第77回カンヌ国際映画祭で、スタジオジブリとして名誉パルムドールを授与された。さらに9月には、マグサイサイ賞を受賞。2001年に開館した三鷹の森ジブリ美術館では企画原案・プロデュースをし、現在は名誉館主を務めている。

宮崎駿イメージボード全集 刊行に寄せて

宮崎駿が映画を作る時の大きな特徴は、まずイメージボードを描くということだ。そのイメージボードのなかには映画に必要な情報、時間・空間・キャラクターの表情・性格・動き——すべてが描かれていて、こんなことができるのは宮さん以外誰もいないと教えてくれたのは、高畑勲だった。しかしこれまで宮さんの本格的なイメージボード集はなかった。今回の刊行をいちばん楽しみにしているのは僕かもしれない。

スタジオジブリ 鈴木敏夫